

平成 26 年度日本海ソデイカ(あかいか)漁況情報(中短期予報)

\* 但馬地域の沿岸漁業にとって重要な対象種となっている「ソデイカ(あかいか)」について、現況と中短期的な漁況予報をお知らせします。操業の参考になれば幸いです。

現況と見通し(予報対象期間:平成 26 年 10~11 月)

【現況(～9月末まで)】

- ・漁況指標値(香住本所の 1 日 1 隻あたり漁獲量)は、9 月以降 80 kg 前後で推移。
- ・冷夏等の影響で、漁期前の予測(135~200kg/1 日 1 隻あたり)を大きく下回る漁獲で推移。
- ・漁獲物のサイズは、9 月下旬時点で胴長 50~60cm 台前半(体重 6~10kg)が主体。

【今後の漁況予報】

- ・当面、胴長 50~60cm 台のサイズが漁獲の主体で、その後しだいに小型サイズ(9 月末で胴長が 40cm 台前半以下)の漁獲割合が増大する。
- ・山陰・若狭沖の冷水域の張り出しはやや弱く、漁場は沖合域に拡散する。また、但馬沖に小規模な冷水域が長期間形成され、ソデイカの漁場形成に影響を及ぼす可能性がある。
- ・現在の漁獲状況や小型サイズの加入状況から、今後の漁獲は近年 5 か年の 1 日 1 隻あたりの平均漁獲量(165kg)をやや下回ると考えられる。

\*日本海西部海域の海況予測には、(独)水産総合研究センター日本海区水産研究所の日本海海況予測システム(JADE)を利用しました。(http://jade.dc.affrc.go.jp/jade/)

1. 漁況の推移 (図1)

漁況の指標としている JF 但馬漁協香住本所の 1 日 1 隻あたりの漁獲量(旬別平均値)は、8 月下旬が 36kg、9 月以降は 80kg 前後で推移しています。今漁期は、豊漁であった前年を大きく下回り、近年 5 か年平均と比較しても、半分近い低調な漁獲となっています。

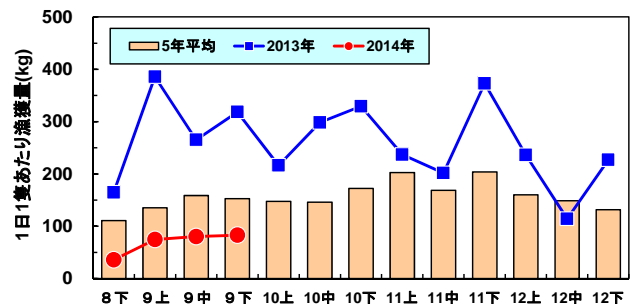


図1 旬別1日1隻あたり漁獲量の推移(JF但馬香住本所)

2. 漁獲物組成の推移 (図2)

但馬漁協香住本所での市場調査の結果、漁期開始時(9月上旬)に最も漁獲されているサイズは、胴長が 40cm 台後半(体重約 4kg)でした。それが成長に伴い、9月中旬には 50cm 前後(5kg)、9月下旬には 50~60cm 前半(6~10kg)となっています。

また、9月下旬頃からは、それよりも小さいサイズ(40cm 台前半以下)の漁獲も見られます。

現在は、胴長 50~60cm 台前半が漁獲の主体ですが、これからはそれよりも小型のサイズが成長しながら徐々に漁獲の主体となっていくと考えられます。

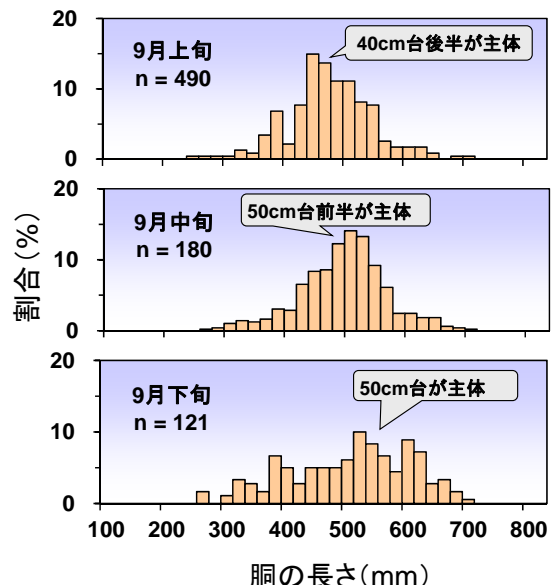


図2 漁獲物の体長組成

### 3. 漁場環境の推移 (図3)

これまでの調査により、好漁場は水深 50m の水温が 19°C以上、水深 100m の水温が 14~15°C以上の海域に形成されることが分かっています。また、この時期の山陰沖漁場の水温は、季節的な変動よりも沖合部に出現する冷水域の動きに大きく影響されます。

今漁期の 100m 深の水温の変化を「日本海海況予測システム」により予測しました(右図)。太い赤線で示した水温 15°Cよりも水温の高い海域が「好漁場」となる可能性のある海域です。今年は、漁期を通して山陰・若狭沖の冷水域の張り出し(南下)はやや弱く、漁場が沖合域に拡散することが考えられます。また、但馬沖にはそれとは別に小規模な冷水域が漁期を通して存在し、ソデイカの漁場形成に影響を及ぼすことが考えられます。

9月下旬、但馬沖では 100m 深において水温 15°Cの等温線が北緯 36° 付近にありました。またその沖合(北緯 37° 付近)には、小規模な冷水域が存在していました。

10月下旬には、15°Cの等温線が徐々に北上すると予測されます。また 11月上旬には、山陰沖において、北緯 38° 以南の広範な海域で水温が 15°C以上となるものの、但馬沖には依然として小規模な冷水域が形成されると予測されます。

また、冷水域や暖水域の影響により、海域によっては海流の向きに大きな変化(速い逆潮等)が生じる場合がありますので、操業時にはご注意ください。海流の予報については、当センターが発表している「海の天気図」(毎週 1 回)(図4)や「但馬水産技術センターだより (海況情報)」(月 1 回)もご参照下さい。

### 4. その他

日本海区水産研究所の日本海漁況予報(2014年 10~12月)では、対馬暖流域の表面および 50m 深の水温は、いずれも「**年並み**」で推移すると予測されています。

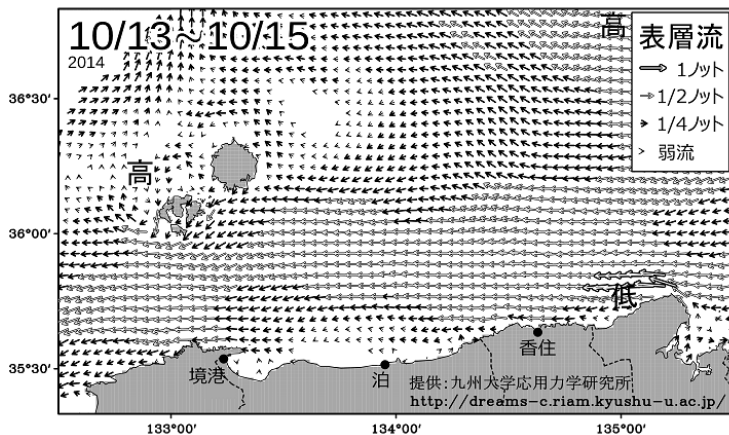


図4 「海の天気図」の一例\*

\*10月10日に発表した10月13~15日の予測  
沿岸域では台風の影響による強い逆潮が予測されている。

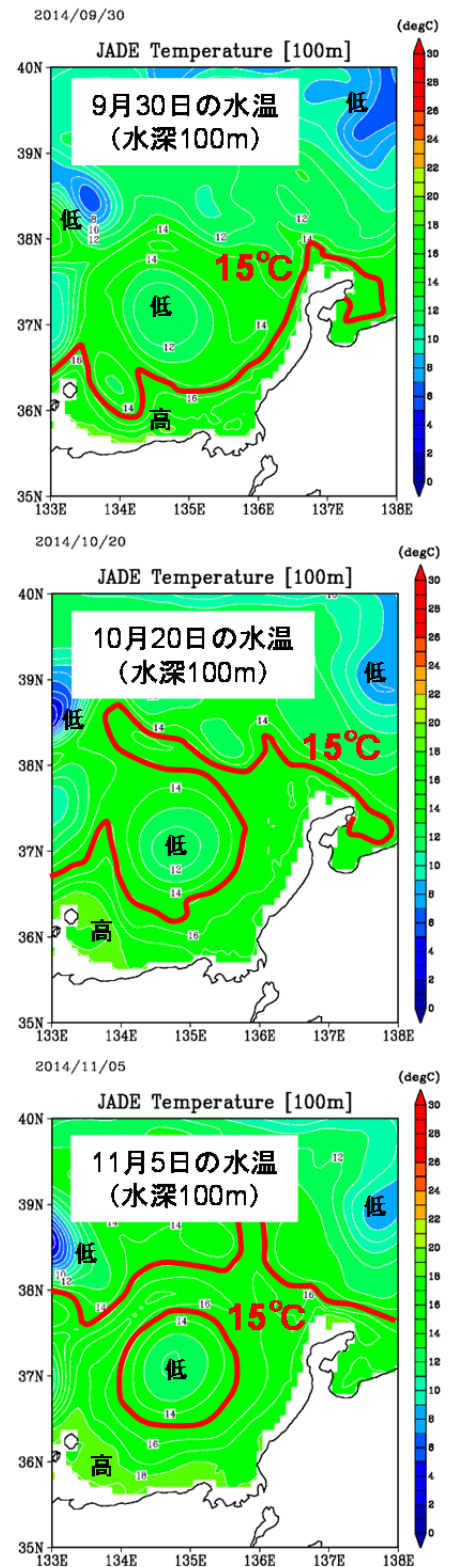


図3 水深 100m の水温分布予測 (太線=水温 15°Cの等温線)